教育目標

心豊かにたくましく生きる子の育成

保護者・地域の願い

- ・安全・安心な学校生活
- ・より良い人間関係の構築
- ・児童理解と適切な支援
- ・知育、徳育、体育、食育面からの育成
- ・子どもに関わる情報の発信

めざす子ども像

- 主体的に学び、意欲的に発信する子
- 礼儀正しく、思いやりのある子
- 健康に気をつけ、進んで体を鍛える子
- ふるさとに愛着を感じる子

児童の実態

- ・素直で思いやりがある。
- ・縦のつながりがあり、高学年が低学年の面倒をよくみる。
- ・何事にもまじめに取り組む。
- ・互いに意見を伝え合う力がやや弱い。

重点目標

確かな学力

- 1 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
- 2 言語能力の育成
- 3 伝え合う力の育成

豊かな心

- 1 互いに認め支え合う学級づくり
- 2 自己肯定感、自己有用感の育成
- 3 教育相談、支援教育の充実

健やかな体

- 1 基礎体力の向上
- 2 基本的生活習慣の確立
- 3 健康教育・食育の充実

信頼される学校

- 1 安全・安心な学校づくり
- 2 開かれた学校づくり
- 3 ふるさとを愛する心の育成
- 4 家庭・地域への情報発信

具体的な取組

- (1) 伝え合う力を育む授業づくりを通して、子どもたち同士がつながり合って学べるようにする。
- (2) 学習言語を習得させ、発達段階に応じた話し方・聞き方を身につける。
- (3) ICT機器の活用やロイロノート等のアプリの活用により、分かる喜びを感じられる授業を目指す。

- (1) ポジティブ教育や道徳科の学習等を通して、互いの立場を尊重する態度を身につける。
- (2) 学級・学年・異学年交流で自治的に行う活動を仕組む。
- (3) アンケートや相談活動、情報モラル教育を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し、未然防止等適切な対応をする。

- (1) 体育の授業や業間活動等を通して運動の質と量を確保し、意欲的に最後まで粘り強く取り組ませる。
- (2) 家庭と連携し、基本的生活習慣の確立、情報機器の適切な利用の定着をめざす。
- (3) 生活習慣の改善を意識した保健指導、給食時間等を活用した食育指導を行う。

- (1) 見守り隊やPTAと連携し、児童の安全・安心を図る。
- (2) ふるさとCMづくりや地域と連携した学習活動を通して、地域の願いを知り、ふるさとを大切に思う心を育む。
- (3) 学年だより等をHPの更新やHome&Schoolで発信することにより学校の様子を伝える。

検証の手法

- ① 自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする活動に意欲的に取り組んだ児童90%以上
- ② 授業が分かったと答える児童90%以上
- ③ ICT機器の活用やプレゼン能力の育成に努めた教員90%以上

- ① 自分や相手を大切にする言動ができたと答える児童90%以上
- ② 学級・学年・異学年交流で一緒に活動するのは楽しいと答える児童90%以上
- ③ 子どもは、楽しく学校に通っていると答える保護者90%以上

- ① 体育の授業などでめあてに向かってがんばった児童90%以上
- ② 「中河小スマートルール」をもとに情報機器の適切な利用を働きかけた保護者80%以上
- ③ 昨年度より保健室来室者の減、う歯治療率等の数値の向上

- ① 地域について学習することで、ふるさとを大切にしたいと思うことができた児童90%以上
- ② 学年だより等をHPの更新やHome&Schoolで発信することにより、学校の様子を知ることができたと答える保護者90%以上

業務改善のための取り組み

- 1 19:30以降校内に留まることは許可制とし、管理職の判断を仰ぐ。
- 2 月曜日・水曜日を「ノー残業デー」とし、全員が18:00までに退庁する。
- 3 学校行事の精選や授業時数の見直しを図る。